

働く男のライフスタイル情報紙

# BizLifeStyle [ ビズスタ東京 ]

# 2017 01

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、名古屋、関西、京都・滋賀、仙台、福岡、広島にて62万部発行  
下記URLまでアクセスを。

[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)

広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005

企画・制作 / 株式会社デイリースポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
© 2017 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD

逸品との生活 ①



## 檜風呂のネオジャパネスク。

毎日のバスタイムを、至福の癒して包みたいという願いから造られた、独創的なバスタブ。写真の通り、自然の中にも溶け込みそうな造形が見事だが、実際に置けばきっと見た目以上にマッチするだろう。というのも、何と「檜」で造られているというのだから。

これは、日本発の高級浴槽ブランド「ジャクソン」の今年の新製品。イタリア語でそのものスバリの「檜」を意味するバスタブ「シプレッソ」だ。ジャクソンは、上質なデザインと特別な入浴感を両立するクオリティで、海外のラグジュアリーホテルやセレクトリテイの邸宅などで多数の採用実績を誇る。明確なビジョンと強烈な個性を武器にする同社だが、さすがに「檜のバスタブ」は今回が初めてだといっ。

日本伝統の檜風呂をここまでモダンに仕上げるのも凄いが、写真をよく見ると、檜の外装の中に白い部分が見える。これは滑らかな質感を持つアクリル製のバスタブ本体に、檜のカバー材をラッピングしているのだ。人気のネオジャパネスクテイストもここまで来たか...と思わせる仕上がり。逸品。次ページでは、その詳細を見ていこう。



伝統の職人技と、現代のバスタブ技術の融合。次ページで詳しく検証。

My Favorite Life Style



あらゆる部位が滑らかな曲線を描き、光や空間によっては、この通り彫刻のような佇まいに。最先端のトイレとは思えない美観は、「センサアリーナ」の大きな特徴のひとつだ。



檜風呂と言えど重厚なイメージだが、実物は写真以上に穏やかな雰囲気。「こんなに優しい表情になるのか」と、きっと驚くはずだ。

# 技術は日本、美意識はドイツのコラボレーション。



ショールームには、世界が憧れる水栓器具の数々が展示されている



美味しい炭酸水が蛇口から出てくる感動体験をショールームで

水栓器具にこだわる時には、必ずと言ってよいほど候補リストに名が入るGrohe。昨年、同社が初のシャワートイレシリーズ「センサアリーナ」を発表した際には、驚きの声があがった。日本が世界に誇る最先端のシャワートイレ技術とドイツの美意識が融合した、インテリアコンシャスなトイレ製品。期待値は高かったが、実際の製品はそれを悠々と超えるレベルに仕上がっている。

欧州の美と日本の技の出会い  
まず、メカニクス部とシート部はほとんど極限的な薄さだ。最新技術が埋め込まれているとは思えないほどやわらかな曲線を描く陶器部も、見事なまでのフラットデザイン。表紙でこの美しさを通り、上質なインテリアとして十分に成立する美観を実現している。また、便蓋には、欧州のトイレで広く使用されている素材を採用。表情の美しさだけでなく、強度も非常に高く、便蓋に腰掛けられるほどの耐久性を備えているのだ。

さて、そのショールームにはもちろんGroheの顔である水まわり関連の製品がズラリと並び、たとえば「フロンティア」シリーズのシャワーヘッドは、本誌のイチ推し。水栓を開けるだけで、冷水/微炭酸/強炭酸の3種類の水を楽しめる画期的なウォーターシステムだ。なんとこれも、冷えた炭酸水が直接水栓から出るといっただけで、ドリンクはもうお任せ。欧州では5年前に発売された「麗人」の製品となり、アジア初上陸の日本では今年の発売を予定。ショールームでは販売に先駆けて試飲できるので、アルコール好きの方、健康志向の方は体験を。

蛇口から冷えた炭酸水が!?  
くするフレオオッシュンなどの機能を搭載。これらの相乗効果で、日頃の手入れを格段に軽減してくれるのも嬉しい。



静謐で温もりを感じるデザインのシプレッソボボラッティ1585



ショールームでは、ホテルスタイルの空間でジェットバス美演も

# 樹齢200年、実は「檜」はこんなに優しい。

前ページで紹介した檜のバスは、ジャクソンの「シプレッソ」シリーズ。日本が誇る伝統的な天然素材「木曽檜」をカバール製に使用し、純白のアクリル製の湯船をセットしたバスだ。

見ただけでわかる檜風呂だが、木製の浴槽は、手入れがかなり大変だ。内側だけでなく、外側も定期的に塗り、木の収縮で隙間が空いて水漏れの原因となってしまうこともある。つまりシプレッソは、こうした弱点を補強した「新しい檜風呂」といっていい。

ジャクソンは、創業以来35年以上にわたり、日本の伝統的な風呂文化を背景としたインテリアとしてのバスバスを発信し続けている。「バスライフを極める」というコンセプトのもと、身体に寄り添うような曲線デザインと上質な質感、入り心地を妥協なく追求。シャワーで済ませがちな欧米のセーフラスにも「より豊かな生活」を提案する、頼もしい日本企業だ。

シプレッソシリーズが掲げる「檜」も、形だけのものではない。何と樹齢200年以上の無垢材を使うという本格的すぎるレベルだ。ラインナップには、真円形と長方形の2タイプを用意。微かに弧を

描く繊細な側面のラインは、熟練の職人の手仕事で組み上げられ、自然な木目を活かした仕上げが美しい。また、アクリル製のバスと檜の縁部分とを低く成形し、外装の縁部分を低く強調。実際の製品を見れば、細部へのこだわりがひびひと目分るはずだ。

様々なバスバスを体験したい  
実際に湯を張って浸かってみると、カーブが計算されていることも実感できる。檜の優しい木目、アクリルの清潔なホワイト、湯水の淡いブルーは、実に落ち着きを取り回わせた。なお、浴槽を湯で満たすとブルーに見えるのだが、これはシプレッソで採用しているアクリルの特性によるものとか。もちろん檜の香りにも立ち昇り、温もりや肌触りといひまて、五感のすべてが再起動するようになり心地だ。

Biz Life Style Pick up >>> 骨董通り沿いのショールームは、先端ショップが集まるエリアに立地。インテリアづくりへのモチベーションもアップ。

**ビズスタ特典**

グローエロゴ入り  
キャンパス生地トートバッグ

ショールームにご来場の方には、ランチバッグにもおススメのトートバッグをプレゼント。

受付で「ビズスタを見た」とお伝えください。

※数に限りがございます。

**GROHE 南青山ショールーム**

東京都港区南青山6-12-1  
TEL.03-5778-3206  
営業時間/10:30~18:00 (休館日:月曜日)  
http://www.grohe.co.jp

**JAXSON南青山ショールーム**

TEL.03-5485-2180  
営業時間/10:30~18:00 (休館日:月曜日)  
http://jaxson.jp

**ビズスタ特典**

シプレッソシリーズ発売記念  
檜の湯玉 or 檜の香りのサシェ

ショールームにご来場の方には、檜製の湯玉と檜の香りのサシェからどちらかをプレゼント。

受付で「ビズスタを見た」とお伝えください。

※数に限りがございます。

**ビズスタ特典**

シプレッソシリーズ発売記念  
檜の湯玉 or 檜の香りのサシェ

ショールームにご来場の方には、檜製の湯玉と檜の香りのサシェからどちらかをプレゼント。

受付で「ビズスタを見た」とお伝えください。

※数に限りがございます。



働く男のライフスタイル情報紙

# Biz Life Style

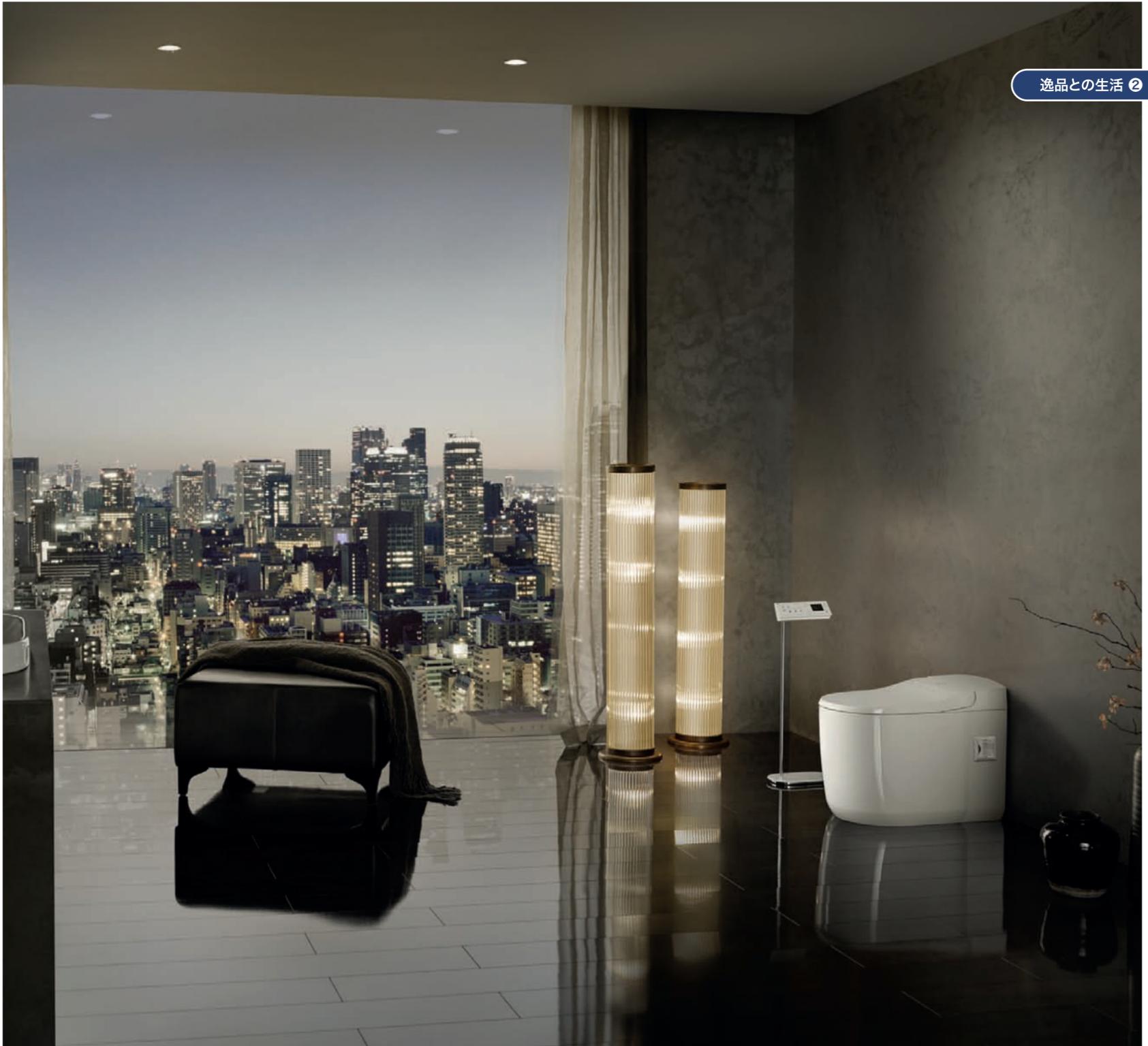
[ ビズスタ東京 ]

2017 01

特別版

『BizLifeStyle』は東京、神奈川、名古屋、関西、京都・滋賀、仙台、福岡、広島にて62万部発行  
下記URLまでアクセスを。[www.biz-s.jp](http://www.biz-s.jp)広告掲載に関するお問い合わせ・申し込みは  
TEL.03-6854-7001 FAX.03-6854-7005企画・制作 / 株式会社デイルスポーツ案内広告社  
〒110-0015 東京都台東区東上野4-8-1 TIXTOWER UENO 14F  
© 2017 DAILY ADVERTISING AGENCY CO.,LTD

逸品との生活 ②



## 独「グロエ」の、新しいインテリア。

窓際の照明の隣の白いモノ。スツールかと思いきや、何とトイレ。上質なインテリアに溶け込んでしまっているのだから、何とも不思議な気分。

このトイレは、ドイツが誇る高級サニタリーメーカーグロエ社の製品だ。グロエと言えば、各国のラグジュアリーホテルや高級コンドミニアムなどで数多く採用されている、世界的なサニタリーブランド。「水まわり」という言葉とセットで聞けば、反射的に美しい水栓器具を想起する方も多しはずだ。

インテリアに詳しい方なら「あのグロエがトイレを？」と違和感を覚える方もいるだろう。写真の「センシアアリーナ」は、日本初となるオリジナルシャワートイレなのだ。

1906年創業の同社は、昨年に日本企業の傘下に入り、注目を浴びた。日本の住宅周辺技術は世界的に評価が高いが、とりわけトイレは明らかに一線を画すほどの技術を有する。経営基盤の一新を機に、ドイツのデザインと日本のテクノロジーのコラボ製品が生まれたわけだ。そして、グロエがリリースされたこの「センシアアリーナ」は日本のトイレ技術を世界に発信していく役割も担っている。

あのグロエが世界を驚かせた、インテリアとしてのトイレ。次ページで詳しく検証しよう。



あのグロエが、なぜ、いまトイレを？ 次ページで詳しく検証。